

戦気 NO.29

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



4月29日 第10回 戦気杯 三谷大和スポーツジムスパーリング大会

4月29日(祝)、快晴のもと千葉県八千代市村上のアースメイト駐車場に野外特設リングを組み立て、『第10回三谷大和スポーツジムスパーリング大会 戦気杯』が参加ジム数21、総試合数62試合で開催されました。



開会式

9時から司会はJBC専属リングアナウンサーの富樫光明さんのよく通る声で開会式が始まりました。

三谷大和会長の開会の言葉、来賓はアースホーム顧問の岡村勝輔さんの挨拶、新参加4ジムの紹介、ルール説明、選手宣誓は三谷大和スポーツジムの梅津奨利選手が「われわれ選手一同は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、スポーツマンシップにのっとり最後まで正々堂々と戦い、この大会を世界チャンピオンになるためのひとつのステップにすることを誓います」と力強く宣誓。

大会モラル説明をイマオカジムの今岡武雄会長が「沢山の方たちの協力のもとに今日の素晴らしい大会が開かれるという感謝の気持ちを持つということをおみなさんにもお願いします」と挨拶されました。

午後の部は、女子の部2試合からスタートしました。女子の部のあとにスペシャルスパーリングが行われ、現日本ライト級チャンピオンの荒川仁人選手、現WBC女子アトム級チャンピオンの小関桃選手、現東洋太平洋ライトフライ級チャンピオンの家住勝彦選手が登場し、子どもたちと1ラウンドのスパーリングを行いました。



午前の部は、中学生卒業以上の一般の部が31試合行われました。これからプロテストを受ける選手、全日本社会人選手権に出場する選手などが熱い戦いを展開しました。



努力賞は、チームピットブルジムより出場したウルマン・アレックス選手、優秀選手賞は土橋ジムの高橋靖之選手、最優秀選手賞(MVP)は、国際ジムの大高知幸選手が選ばれ、それぞれ賞状、トロフィー、マスコットグローブが贈られました。

それぞれ賞状、トロフィー、マスコットグローブが贈られました。

お昼休みはミニコンサート

お昼休みには「仲良しバンド」によるミニコンサートが開かれました。



ちびっこボクシング教室

「昭和46年会」によるちびっこボクシング教室が開かれ、現役の世界、東洋太平洋、日本チャンピオンを始めとするコーチ陣から子どもたちは手取り足取りでボクシングの基礎をおしえてもらいました。25人がリングに上がりましたが、初めてリングに上がる子どももいました。30分という短い時間ながらボクシング体験できて面白かったようでした。



オヤジの部は、6試合組まれました。日頃の練習の成果を応援に来た家族の前で発揮しようと頑張る姿が印象的でした。出場者は、年はずっとも自分の持てる力を一杯出そうと全力で相手に向かって行く姿が見られました。



中学生の部は、10試合行われました。出場回数が8回に上る選手もあり、素晴らしいフットワークとパンチのスピードを持つ中学生も見受けられました。



優秀選手賞は、レイスportsボクシングジムの坂本翔選手、最優秀選手賞は、伴流ボクシングジムの石井龍誠選手がそれぞれ選ばれました。

小学生の部は、13試合行われました。パンチをもらって途中からベソをかく子どももいましたが、大きなグラブを精いっぱい振って戦っていく姿が微笑ましく思えました。

閉会式



大会評価を、レイスportsボクシングジムの佐藤達雄会長が「なりより評価したいのは、参加している選手のちびっこから大人までみなさんが元気に、またマナーよく挨拶をし、相手の選手を思いやったりする気持ちが伝わってきています。この大会から将来、日本チャンピオン、世界チャンピオンをみんなで創っていこう」と評価。

閉会の言葉を、イマオカボクシングジムの今岡武雄会長が述べ、大会は盛会のうちに終了しました。この後、リングの解体と駐車場清掃が行われました。